

えが お



平成30年度
No.5
11月21日

伊那市
よりよい
教育環境
推進連絡会



手良小学校

栄えある文化受け継ぎ
瞳あかるくのびゆく我ら

【学校教育目標】

「校訓」
思いやり
【学校教育目標】
やさしい子
かしこい子
やりぬく子
元気な子

【登下時の安心・安全の取り組み】

五十名以上の子ども安全見守り隊員の皆さんが、子どもたちの登下校を見守ってくださっています。多くの方が、一昨年度新調したおそろいの緑色のベストを着用し、それぞれの地区の交差点などに立ち、子どもたちに、「おはよう」「お帰り」など声をかけてくれます。「地域の子どもは地域で守る。」という気持ちで、手良地区は一つにまとまっています。子どもたちからも「見守り隊の人が立っていると安心する。」「今日はおはようと、自分から言えた。」などの声が聞かれます。



練習を積み重ねたりして本番に備えます。一年生も六年生の順に演奏していきますが、六年生になると曲のレベルが上がり、六年生だけの曲「山呼」の演奏を含め、法被を着て演奏することが出来ます。聞いても・見ても大感動の発表になっています。



音楽会には地域の皆様が多数来られ、「素晴らしいです。」との声をいただいています。

【秋の自然に親しむ日】

十月に、「秋の自然に親しむ日」を実施します。「仙丈グループ（1〜6年混合の縦割り班）」による活動で、午前中は校庭でカレー作り、午後にはスタンプラリーを行います。

カレー作りでは、普段あまり経験が無いため、火の調整が少し難しかったようですが、グループ内で1年生から6年生まで協力し合い、今年も美味しいカレーを作ることができました。

「スタンプラリー」では、手良の見所マップを参考に回ります。野口、中坪、下手良、八ツ手の全ての地区を体験できる様、一年ごとコースを変えて数カ所のチェックポイントを、地図を頼りに回り、スタンプを押してもらいます。本年度は野口地区で、八幡神社、鳥の宮湧水などを巡りました。グループでまとまって、楽しみながら歩くことが出来ました。校長先生のいるポイントでは、なぞなぞが出題され、正解するとおいしい飴がもらえたようです。秋の自然を十分に満喫できる日となっています。



伊那市よりよい教育環境推進連絡会

NO・5

1 えが お

「あーよかったな
あなたがいて」
伊那市人権同和教育講演会 西箕輪で開催

去る十月二十七日（土）西箕輪小中学校において伊那市教育委員会と西箕輪小中PTAの共催により人権同和教育講演会が開かれました。

① 仲島正教先生（教育サポーター）のお話

午前八時五十分から、まず西箕輪小学校で一〜四年生と保護者向けに、学校生活の中で起こる事例から、ご自身の経験を通して「人への優しさ」「大切なもの」「命とは？」などわかりやすくお話されました。関西弁でのスピーディな話題提供で飽きない五十分でした。低中学年の子どもたちでしたが、姿勢を崩すことなく静かに聞いていました。



② 松島恒志先生（菅野中学校校長）のお話

続いて十時から中学校で「小中学生の適切なネット・機器利用」と題して、最近のスマホやタブレットに接する際の注意点について五、六年生と中学生向けにお話がありました。実際に持っている子は中学生でも四割だそうですが、いつも使っている子はまだ少なく、この時期からこれらの危険性を聞いておくことは大事なことでと思います。

そのあと、残った約三十人の保護者に、携帯の使い方を制限でなく「話し合いで」決めていくことがよいなど、アドバイスがありました。



第一回 伊那市 中学生キャリアフェス

伊那市教育委員会の主催により市内全中学二年生を集めたキャリアフェスが、十一月二日伊那市民体育館で開かれました。



初めての試みにも関わらず、九十三もの市内外の業種や団体が参加して、仕事の説明やミニ体験を行うブースを並び、大盛況でした。中学生の職場体験は終わっていますが、普段なかなか接することができない会社や役所、消防団やNPOなど我々見学者には目移りするほどの出展でした。

中学生は、事前に家庭でスマホやタブレットを使って出展者からの紹介動画を見ていたようで、迷うことなしに目当てのブースに寄っては説明を聞き、体験参加する様子が見られました。

お菓子屋さんなどは人気がありました。一見地味と思われるブースでも熱心に参加する中学生が多く、まじめな子どもたちの一端を見ることができました。

この中から、将来の伊那を背負っていく人が多く出てくればとの大人の熱い思いも伝わってくるようで、素晴らしいイベントになっていました。



【全校太鼓演奏】

手良地区には「手良太鼓」の組織があり、太鼓が盛んです。その太鼓を使わせてもらい、音楽会で全児童による和太鼓合奏を披露しています。

毎年、「まつり工房」の中森先生に直接指導いただいたり、授業時間以外にも朝・休み時間等に自主



伊那西小学校

地域ぐるみの熊対策

学校教育目標

『かしこさ』 知・豊かな知性と確かな学力
『やさしさ』 徳・豊かな人間性
『たくましさ』 体・たくましい心と体
『知・徳・体の調和のとれた人間形成』

登下校時の安心・安全の取り組み

○保護者への児童送迎のお願いと

下校バス（熊バス）の運行

熊・猿のマークがいくつもついている本校の安全マップは、まるでアニマルパークの案内図のような状態です。子どもたちはカバンに「熊鈴」をつけているため、通常の登下校（登下校班）では、いくつかの音色が重なり、どこを歩いているのかが音で分かります。ここ数年は、六月下旬から熊の出没・目撃情報が寄せられます。それらの状況によって、保護者に登下校時の児童送迎をお願いすると共に、下校時に迎えに來られない児童への下校バス（通称・熊バス）を運行し、自宅付近まで送る対応をとっています。この対応については教育委員会と連絡をとりながら行っています。

○出没目撃情報と児童送迎、バス運行状況

平成二十八年度 情報：十六件 送迎：バス運行
日数：三十六日 バス利用児童：八二七人

平成二十九年度 情報：十件 送迎：バス運行
日数：三十八日 バス利用児童：八〇六人

平成三十年 情報：四件 送迎：バス運行
日数：五十四日 バス利用児童：一一三八人

○地域と連携した熊に関わる安全対策

六月一日（金）には、毎年行っている「子ども



の安全に関わる（熊・猿）の会議」が、瀧井暁子先生（信大助教授）、宮脇 優さん（地方事務所林務課）、小林竜太さん（市耕地林務課）をはじめとして、区長・総代、公民館三役、PTA三代、校外指導部正副部長の参加のもとに開催されました。会議では、瀧井先生を中心に、熊の特性や出没に関わる概況等について話をいただき、全体で共通理解を図ると共に、地域からの情報をもとにした今年度の取組の方向について協議しました。ここ数年、学校周辺にはモロコシの耕作をしなくなったことなどについて話がありました。

○熊の学習会【隔年実施】

「熊の生態を知り、熊との距離を保ちながら、互いの生活空間を大事にして生活していく気持ち」を培う、「熊が生息しているところは自然が豊かであることを知る」事を目的として、信大農学部瀧井先生、「NPO法人信州ツキノワグマ研究会」の協力を得て実施しています。一昨年度は、「熊の身体の特徴」、「食べ物」、「暮らし」、「熊に出会ったらやってはいけないこと」、「襲われたときの対処法」等について、全校児童がお話をお聞きしながら学習しました。今年度は、十一月二十八日（水）に、高遠北小学校とICTを介した同期発信による実施を予定しています。

○PTA役員・保護者・地域の方の協力

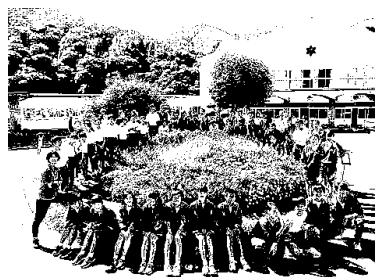
熊の出没目撃情報により、校外指導部長、PTA会長と連絡をとり、対応策について協議すると共に、各地区の校外指導部に連絡をしていただいています。
・校外指導部員の方を中心に、通学路の点検を兼ねて下草を刈ってくださったり、一緒に歩いて児童の安全確保をしてくださったりしています。
・熊の出没・目撃情報の状況により、児童の登下校の送迎を協力してくださっています。



長谷中学校

長谷地域を元気に！

全校生徒は四十五名と小さな学校ですが、やることはどっかい！長谷中学校。たくさんの方の地域の方が学校に関わっています。信州型コミュニティスクールの実現を目指してアクティブに活動する学校です。



【生徒会スローガンは「自らの手で長谷のために」】

長谷地域は、少子高齢化、過疎化が進む山間地です。耕作放棄地は年々増え、地域の生産力も低下の一途をたどっています。自分たちが住むこの長谷地域の元気の源になると、また、地域コミュニティの礎になると生徒達が問題解決的な学習をしています。それが、長谷中の生徒会活動であり、「総合的な学習」です。

文化祭では、「入野谷学習」として、地域に伝わるざんざんや南アルプス太鼓を発表しました。長谷、中尾地区に伝わる農村歌舞伎「中尾歌舞伎」のファンクラブを立ち上げ応援する活動も行っています。

そして、今、知らない人はいない『長谷の太陽』は、「学生ができる地域おこし」の一つ。長谷中の畑で育てた2000株のトウガラシと、地域の方に苗を配って育ててもらったトウガラシを加工してつくったラー油です。餃子はもちろん、豆腐に、サラダに、中華、イタリアン、どんな料理にも相性ばっちり。一度使うとやみつきになりますよ。

【今年「カレーフェス」イン長谷中学校】

長谷には、鹿嶺高原キャンプ場という、南アルプス連峰と伊那盆地を一面見渡すことのできる「隠れた」観光地があります。このキャンプ場をより多くの人に知っていただきたいと三年生が企

画した「カレーフェスイン鹿嶺高原」は、鹿嶺高原でカレーを食べるといふなんともおかしな催しでした。当日は、雨のため会場を長谷中にしましたが、そのおかげでびっくりするくらいたくさんの方が長谷中にお招きして、生徒と地域の方がつくった美味しいカレーと長谷中生の元気を味わっていただくことができました。

【花壇作り】

本校には、「三峰の時間」という全校作業の時間があります。清掃の時間の後、十五分は全校で汗を流す時間です。

三峰の時間の主な活動は、花壇の手入れです。種から育てた苗を正面玄関のメイン花壇、学年花壇に植え付けます。メイン花壇は、FBC（フラワーブラボーコンクール）学校花壇コンクールの連続入賞を誇る学校のシンボルで、今年度も、（県準優勝に当たる）総務大臣賞を受賞しました。また、毎年四月には、長谷地区全戸へのパンジー配付を行っています。生徒達が一軒一軒訪問して苗を手渡しています。楽しみに待っていてくださる方がたくさんいて、大切な伝統行事となっています。

【長谷の縁側】

「長谷の縁側」は、毎月最終金曜日に地域の方を学校にお呼びして、農作業やお茶会を開いています。

◇「安全安心！長谷」

長谷地区は、中学生にとつて「安心で、安全な地域」であることに間違いはありません。多くの大人が子どもを大切な地域の宝と考え、顔を知り名前を知り挨拶をしてくれます。子どもを大切にしてください。地域の方と楽しい学校生活をつくっていききたいと思えます。

